

人権尊重社会の実現へ（企業の取組）

「CSR」という言葉をご存知でしょうか。これは「企業の社会的責任（コーポレート・ソーシャル・レスポンスビリティ）」の頭文字をとったものです。その意味は、企業の社会に与える影響がますます大きくなった現代では、企業も社会を構成する一員として、「人権」や「環境」などに配慮した行動をとるべきであるということです。

活動に対するコンプライアンスや情報公開、説明責任、透明性の確保などの観点から、信頼を得ていくことが求められています。

また、「人権」や「環境」など国際社会に共通する普遍的な課題に対して、各国政府や国際機関だけでなく、企業にも積極的な取り組みが求められます。そこで企業が守るべき原則として「国連グローバル・コンパクト」が提唱されました。これは、世界中の企業が、「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」に関する四分野十項目の原則を守り、向上に努力する必要があるという内容です。

世界中で、多くの企業が趣旨に賛同し、その数は増えています。さらに、国際標準化機構（ISO）においても、企業や組織の「社会的責任に関する七つの原則（ISO 26000）」を提唱しました。

このように、どの原則も必ず人権を尊重することを最重要課題として取り上げています。もちろん国内でも世界の流れに沿った、企業の社会的責任に関するより身近な指針（「企業行動憲章」など）を提唱しています。

世界は未だすべての人の人権が守られている社会を構築できていませんが、様々な方面から、人権尊重社会の実現に向け、歩みを進めることが必要ですね。

（公益財団法人人権教育啓発推進センター冊子「CSRで会社が変わる、社会が変わる」より）



市人権推進課（教育庁舎1階）
TEL 32・2122
FAX 33・3525
Mail:jinkensuishin@city.komatsushima.jp

秋の夕日波白じろと躍らせて沖の燈台ことさらの白
横須町 福島 夢栄

おいてけぼりにされているわれ芍薬の芽は早も出で霜月
半ば
立江町 湯浅かや子

「よく聞いて」と遺影の夫の福耳に語りいるなり日課となりて
江田町 深田 伴子

霜月に早も届きぬ「おせち」のカタログ煮豆、お煮染、亡母の手料理恋し
横須町 三宅 敏恵

神官として最後の秋祭り袴の裾も長くなりし夫
田浦町 太田カツミ

退院し周囲の人らに氣遣われようやく地藏参りに行く
櫛淵町 松下 玉枝

前庭の山茶花に並ぶ椿の木つぼみふくらみ色もほのかに
坂野町 橋本千代乃

すぐれたる外科医の手術成功し九十老いの足立たしむる
神田瀬町 大西カヲル

釣りだちの魚捌きて握り鮎嫁の腕前プロ級の味
赤石町 田原トシ子

受話器からやがて二歳が「ばあば」って。カタコトという贈り物です
横須町 山崎 泰子

市民文芸 花みずき歌壇（352） 松並敦子・選